

道德教育

1 道徳科の趣旨

○ 道徳科の目標について

道徳科の目標

「道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、①道徳的諸価値についての理解を基に、②自己を見つめ、③物事を多面的・多角的に考え、④自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」

小(中)学校学習指導要領(平成29年告示)

○ 道徳科の目標について

① 道徳的諸価値を理解する。

価値理解…道徳的価値は大切であること

人間理解…大切ではあるが実現は難しいこと

他者理解…実現に向けては多様な感じ方・考え方があること

○ 道徳科の目標について

② 自己を見つめる＝自分との関わりで 道徳的諸価値をとらえる。

- ・ 道徳的諸価値についての理解を自分との関わり（これまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら）で行う。
- ・ このような学習を通して、児童一人一人は、道徳的価値の理解と同時に自己理解を深めることになる。

○ 道徳科の目標について

③ 物事を多面的・多角的に考える。

- ・ 道徳的価値の理解は、道徳的価値自体を観念的に理解するのではなく、道徳的価値を含んだ事象や自分自身の体験などを通して、そのよさや意義、困難さ、多様さなどを理解することが求められる。

○ 道徳科の目標について

③ 物事を多面的・多角的に考える。

- ・ 道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるという道徳的価値の自覚を深める過程で、道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われる。その中で、自己や社会の未来に夢や希望がもてるようにすることが大切である。

○ 道徳科の目標について

③ 物事を多面的・多角的に考える。

- ・Aさんの近所の庭に、Aさんが大好きなおばあちゃんが丹精込めて育てた花が咲いています。
- ・ある日、Aさんのお母さんが風邪をこじらせて入院することになりました。
- ・そのことを聞きつけたおばあちゃんは、「お見舞いに、庭の花を好きなだけ切ってもっていきなさい。」と言います。
- ・Aさんは、「お母さんは心配だけれど、おばあちゃんが大切に育てたお花を切るのはちょっと・・・。」

Aさんは、どうしたらよいのでしょうか？

○ 道徳科の目標について

④ 自己の生き方についての考えを深める。

■ 例えば、道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする。

今までに、家族のことを考えて役に立てたことはあったかなあ…



今までに、礼儀正しくなくてはいけなかったときに、失礼をしてしまったことはなかったかなあ…



○ 道徳科の目標について

①～④の学習を通して

以下の3つを育て、道徳性を養う。

- ・道徳的価値の大切さを理解し、望ましい対処を判断する能力(道徳的判断力)
- ・人間としてのよりよい生き方や善を志向する感情(道徳的心情)
- ・道徳的価値を実現しようとする意志の働き、道徳的行為への身構え(道徳的実践意欲と態度)

○ 内容項目について

道徳科の内容項目

〔小学校〕 低学年19、中学年20、高学年22

〔中学校〕 22

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

○ 道徳科の学習指導過程

導入	<ul style="list-style-type: none">・道徳的価値について、<u>問題意識</u>をもつ・教材の内容に興味や関心をもつ
展開	<ul style="list-style-type: none">・<u>自分自身との関わり</u>で考える・物事を<u>多面的・多角的</u>に考える・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める
終末	<ul style="list-style-type: none">・道徳的価値の意義を理解し、自己の生き方に生かす

○ 道徳科の学習指導過程

自分自身との関わりで考える授業

〇〇のとき、
主人公は、
どんな気持ちで
しょうか？

主人公と同じ状況
だったら、
どんな気持ちになり
ますか？

△△のように考えた
と思います。
自分も…

自分だったら、□□な
気持ちになります。
だって…



読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

○ 道徳科の学習指導過程

物事を多面的・多角的に考える授業

ルールを守るのが大切なのは分かるけど、〇〇できないこともあると思います。

ルールを守ることは大切だから、〇〇すべきだと思います。

例えば△△な状況だったら、ルールを守ることができるかな。

自分だったら…

他者と対話したり協働したりする学習

○ 道徳科の学習指導過程

【発問の工夫】

- 考える必然性や切実感のある発問
- 自由な思考を促す発問
- 物事を多面的・多角的に考える発問 など



- ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、**道徳的価値を多面的・多角的に考える。**
- ・他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。**

○ 道徳科の学習指導過程

多様な指導方法の工夫

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

教材の登場人物の判断と心情を**自分との関わり**において**多面的・多角的に考える**ことを通し、道徳的価値の理解を深める学習

問題解決的な学習

子どもたちの**考えの根拠**を問う発問や、問題場面を**自分**に**当てはめて考えてみる**ことを促す発問などを通じて、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる学習

○ 道徳科の学習指導過程

多様な指導方法の工夫

道徳的行為に関する体験的な学習

疑似体験的な活動（役割演技など）を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することで、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う学習

これらは多様な指導方法の一例であり、それぞれが独立した指導の「型」を示しているわけではありません。道徳科における具体的な学習指導過程は限りなく存在し得るものです。



○ 道徳科の授業づくり

○ 道徳科の発問づくり

再掲

【発問の工夫】

- 考える必然性や切実感のある発問
- 自由な思考を促す発問
- 物事を多面的・多角的に考える発問 など



- ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、**道徳的価値を多面的・多角的に考える。**
- ・他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。**

○ 道徳科の発問づくり

発問づくりのポイント

「児童生徒に問題意識をもたせる発問」

「自分のこととして考えさせることができる発問」

「自己の本音や心情を表出させることができる発問」

「多様な感じ方や考え方を引き出すことができる
発問」



○ 道徳科の目標と内容項目について

- ・道徳科においては、道徳性を養うために
 - ①道徳的諸価値についての理解を基に、
 - ②自己を見つめ、
 - ③物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、
 - ④自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てること。
- ・内容項目は、小学校低学年19、小学校中学年20、小学校高学年22、中学校22であること。

※()は中学校

「考え、議論する道徳」への質的転換に向けて

- 道徳的価値に迫る読み物の活用や道徳的価値に関する問題解決的な学習・体験的な学習など、多様な指導方法を取り入れた授業を各学校において展開する。
 - ・自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。
 - ・多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。

指導に当たっては、

- ① 学習指導要領の趣旨をしっかりと把握し、
- ② 指導する教師一人一人が、学校の実態や児童生徒の実態を踏まえて、
- ③ 主題やねらいに応じた適切な工夫改良を加えながら適切な指導方法を選択すること

が求められるということである。

平成28年11月7日道徳教育担当指導主事協議会の資料を基に作成

3 高等学校における道德教育

(1) 高等学校における道德教育の推進

高等学校における道德教育については総則に含まれ、新学習指導要領においては「人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うこと」という道德教育の目標を踏まえ、道德教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道德教育の推進を主に担当する教師（以下「道德教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して展開することが示されています。

(2) 道徳教育の全体計画

ア 全体計画の意義

道徳教育の全体計画は、人間としての在り方生き方に関する教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画であり、次の点において重要な意義をもっています。

- ・ 人格の形成及び国家、社会の形成者として必要な資質の育成を図る場として学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる。
- ・ 学校における道徳教育の重点目標を明確にして取り組むことができる。
- ・ 「人間としての在り方生き方」を目標に掲げる公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動の中核的な指導の場面としての位置付けや役割が明確になる。
- ・ 全教師による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できる。
- ・ 家庭や地域社会との共通理解を深め、保護者や地域住民の協力を可能にする。

イ 全体計画の内容

高等学校における道徳教育については、小・中学校のように道徳科を特設しておらず、指導する内容項目等は示されていませんが、学校全体で行う道徳教育の全体計画を作成、実施するに当たっては、小・中学校の道徳教育との接続を意識するとともに、生徒の実態に応じて、取り扱う内容を重点化して示すことが必要です。

(3) 道徳教育推進教師

新学習指導要領における道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行うという現行学習指導要領の基本的な考え方を引き継ぐとともに、各学校や生徒の実態に応じて重点化した道徳教育を行うために、校長の方針の下、「道徳教育推進教師」が新たに位置付けられました。

道徳教育推進教師は、公民科の教師や特別活動の推進者に限定するものではなく、道徳教育の重点を明らかにできる教師のことを指します。各学校においては、校務分掌の一つに位置付けて、道徳教育推進教師を明確にすることが必要です。

参考として、道徳教育推進教師の役割として考えられる具体的な行動例と道徳教育推進教師を校務分掌に位置付けた例を示します。

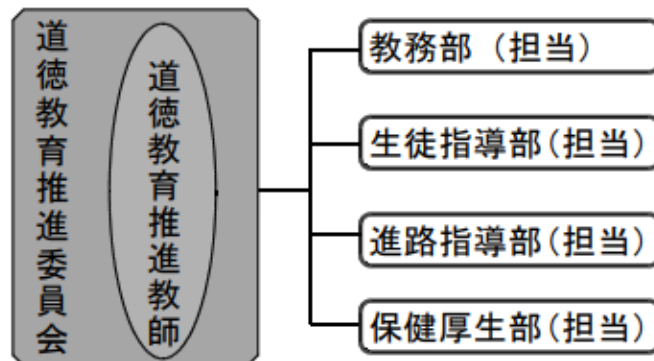
道徳教育推進教師の役割として考えられる具体的な行動例

役 割	具体的な行動例
道徳教育の指導計画の作成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の重点目標を全教員が共通認識できる機会をつくる。 ・道徳性に係る生徒の実態を把握する。
全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や体験活動等の実施する際に重点内容項目を確認する。 ・年1回以上、各教科、総合的な探究の時間等との関連、体験活動や地域とのつながりなどを年間計画等をもとに見直す。 ・全教員が関わることができる仕組みをつくる。
道徳教育用教材の整備・充実・活用に関わること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、掲示物などの保存と活用を行う。(保管場所などの明示) ・地域教材の開発に向けた計画や支援を行う。
道徳教育の情報提供や情報交換に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告の機会を確保する。 ・ウェブページに「道徳教育」のページを設ける。
道徳教育の全体計画の公開など家庭や地域社会との共通理解に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画をウェブページに公開する。 ・家庭、地域に全体計画を周知する。 ・学校便り、学級便りに意図的に掲載するよう働きかける。
道徳教育の研修に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育に関する研修会を研修計画に位置付ける。 ・模擬授業の実施を提案する。
道徳教育の全体計画の評価に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の自己評価に位置付ける。 ・評価のための資料を統一する。 ・家庭や地域の声を評価に反映させる。

校務分掌等に位置付けた例と特徴

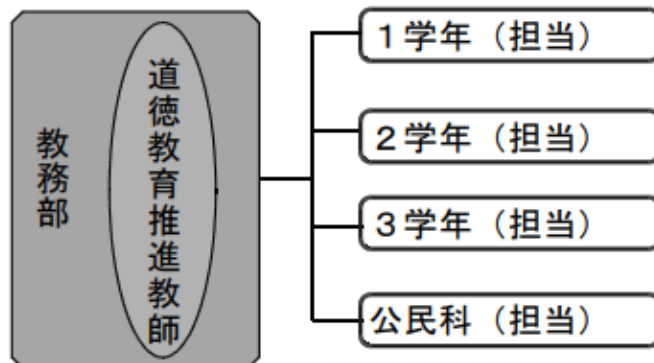
【新たな校務分掌等を設置する例】

新しく「道德教育推進委員会」を設け、各分掌に道德教育担当者を決め、道德教育推進教師が統括する例。各分掌の担当者に道德教育の課題と推進上の役割をもたせ、道德教育推進教師が集約する。各分掌の担当の役割を明確化し、曖昧にしない工夫が必要である。



【既存の校務分掌を活用する例】

校務分掌による運営組織を活用した例。各学年や公民科に道德教育担当者を決め、道德教育推進教師が統括する。道德教育の中核的な指導場面である特別活動と公民科の連携が図りやすい。他の教科・科目等における道德教育の関連を捉えた指導とするための計画の工夫が必要である。



参考資料

【小学校（特別の教科 道徳）】

令和5年度
小学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課



【中学校（特別の教科 道徳）】

令和5年度
中学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課



北海道版道徳教育アーカイブ

北海道版 道徳教育アーカイブ

本道では、「道徳教育の重要性」を踏まえ、令和5年度から、教育課程の改訂、道徳教育の充実、人材育成の促進・推進を図ります。道徳教育の重要性を踏まえ、令和5年度から、道徳教育の充実を図ります。道徳教育の重要性を踏まえ、令和5年度から、道徳教育の充実を図ります。

北海道道徳教育推進会議（道徳教育ハワーアップ研究会）

外部講師派遣事業（子どもの心に響く道徳推進事業）

家庭・地域との連携推進事業

実践事例



指導資料



教材



参考資料

【自尊感情の醸成に向けた道徳教育の充実】

○自尊感情の醸成に向けた道徳教育の充実



【道徳科の授業改善】

○道徳教育の充実に向けて～自尊感情や規範意識の醸成に向けた道徳科の授業改善～



参考資料

【豊かでたくましい心を育むために】

- 自尊感情、規範意識を醸成する道德教育の充実～豊かでたくましい心を育むために～



【道德教育校内研修パッケージ】

- 道德教育校内研修パッケージ

考え、議論する道德の実現に向けて

